



大和小6年生の児童たちが全員で大和駅の清掃活動を行い、30分ほどできれいな駅に変身しました。

大和小児童が『僕たちの駅をきれいにしよう大作戦』

大和小学校6年生の児童が大和駅の清掃作業を行いました。これは、同校の家庭科で「地域とのつながりを広げよう」という計画の下、地域の人たちと共に環境を良くするためできることをしようと実施されたものです。

当日、児童たちは日頃から大和駅のクリーン活動を行っている団体「いきいき駅サイト」(田中孝一代表の皆さんと共に駅舎の窓ふきやゴミ拾いなどを行いました。児童たちは「これからも僕たちが使う駅だから、きれいになってよかったです。」と話していました。

学校支援ボランティアが

活動中

昨年11月から坂戸小学校支援ボランティアが、同校の環境整備、学習・通学などの支援活動をしています。

これは、同校が地域の方を対象に募ったもので、現在の会員は19人。地域の方や児童の父母・祖父母などの有志で構成され、昔遊びの紹介や除草作業、図書館の整備など、今の自分たちにできる範囲で、学校行事や教育活動に協力しています。副会長の又村和子さん(西飯岡地区)は、「子ども達と一緒に活動できることが楽しい。子ども達も楽しく元気に勉強できるように、地域が協力していきたい。」と話していました。



坂戸小学校のPTA行事に参加した支援ボランティアの皆さん

おおよまな 大山加奈さん(元全日本代表)が

桜川市ママさんバレーを指導

岩瀬体育館「ラスカ」で、元全日本女子バレーボール代表の大山加奈さんが、桜川市家庭婦人バレーボール連盟の17チームなど、約90人を対象にバレーボールの講習会を行いました。

これは、同連盟が東日本大震災で活動人口が減ったママさんバレーを活性化させたいと、スポーツメーカーと共催で実現したもので、参加したママさんたちは、大山さんのトスやスパイクの実技指導と、時折見せたスパイクの威力・スピードに感激していました。



大山さんは、「トスはやさしく」「アタックは腹筋を使って」とママさんたちに丁寧に指導していました。

南飯田ミニバススポーツ

少年団が県西大会で準優勝

岩瀬体育館「ラスカ」をメイン会場に、「県西地区ミニバスケットボール新人大会」が開催され、女子の部で南飯田ミニバスケットボールスポーツ少年団が準優勝の好成績を収めました。

今大会には、県西地区から総勢59チーム(男子15・女子44)が参加。同チームは予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメントも1つ1つ勝ち抜き、準決勝では1点差の熱戦を繰り広げて決勝戦に駒を進めました。決勝戦は、惜しくも敗れはしたものの、力のすべてを出し切った選手の表情は晴れやかでした。



県西大会女子の部で準優勝した南飯田ミニバスケットボールスポーツ少年団の皆さん



寺島薬局(株)から

マスク9万枚が寄贈

寺島薬局株式会社(代表取締役社長・水野秀晴/本社・つくば市)から、使いきりマスク9万枚の寄贈がありました。

同社は桜川市内にも店舗を構え、主に関東地方で多数ドラッグストアを営業展開。今回、「地域貢献活動の一環としてインフルエンザなどの感染症およびまん延防止に役立ててください。」と寄贈されたものです。

市では、市立の保育所、幼稚園、小・中学校に配付し、子ども達の感染症予防と健康管理のために使用させていただきます。ありがとうございました。

岩崎電気(株)から

LED防犯灯20基の寄贈

岩崎電気株式会社(本社/東京都中央区)からLED防犯灯20基の寄贈がありました。

これは、同社が掲げる「環境への取り組み」の中の、社会貢献活動の一環として行われ、来庁された五月女和男取締役は「桜川市の防犯に活用してください。」と話していました。

寄贈された防犯灯は、消費電力が少なく地球の環境負荷低減に寄与するLED防犯灯で、市では今回寄贈された防犯灯を、市内各所に設置し、市が取り組む安全・安心のまちづくりに活かしてまいります。ありがとうございました。



岩崎電気(株)の五月女和男取締役(写真左)から中田市長に防犯灯20基の目録が手渡されました。

『元気なアート』コラボラボ

1 桜川芸術祭Vol.3

障がいのある方とアーティストとの作品展「元気なアート」コラボラボ2012・桜川芸術祭Vol.3が、つくば美術館で開催されました。今年は「晴れどきどき、お散歩アート」と題して、屋外に出てワークショップ(共同作業)をした作品を展示。

障がい者の皆さんは、今年で活動3年目を迎え、色彩も表現力もパワーアップ。アーティストとのにぎやかなおしゃべりが聞ける楽しい作品がそろいました。

今回は、美術館に展示したことにより、障がい者も家族のみなさんといっしょに作品を楽しんでいる姿が印象的でした。



『コトバはカラダを駆けめぐる』(インスタレーション)の作品

下水道促進週間コンクール

市内の小・中学生が上位入賞

平成23年度茨城県下水道促進週間コンクールの表彰式が茨城県庁で行われ、標語の部門(応募数10,845点)で坂戸小6年の石川颯汰さんが茨城県知事賞準特選を受賞しました。

また、佳作に岩瀬東中2年の保坂菜奈さん、大和小1年の海老澤翔和さんが、それぞれ入賞を果たしました。本コンクールは、県民の「下水道」への理解と関心を深め、普及促進を目的に毎年9月10日の下水道の日を含む「茨城県下水道促進週間」に、主に小中学生を対象にして実施しています。



下水道促進週間コンクール(標語の部門)で県知事賞準特選を受賞した坂戸小6年の石川颯汰さん